

平成27年度「ふるさと水と土」地域住民活動

活動では水土里ネットだけでなく、農業体験では保護者や保全会の方々などにお手伝いしていただいたり、出前授業ではゲストティチャーとして土地改良区の職員のほか、水系の代表の方にも参加していただきより内容に工夫を凝らしながら、活動が出来たのではないかと感じている。

今年残念だったのは計画していた「どろんこ学校 in 東福寺ため池」が開催直前の水害により、中止に追い込まれたのは非常に残念で、期待していた子供たちや地域の方々には非常に申し訳なく思っています。来年度は是非開催できるよう、再度計画をしていきたいと思ひます。



内 容	先人が築き上げてきた農業水利施設を地域の宝とらえ、施設は地域住民全体の共有財産であり、その意識の高揚を図っていくため、学校教育と連携した活動を展開することにより、児童や親、地域住民等に農地・農業水利施設のもつ多面的機能に関して理解していただくとともに、近年問題になっている農業水利施設へのゴミの投棄について啓発活動を行い、地域環境の保全に努めていく。	
期 間	5月14日～2月29日	
場 所	稲川土地改良区管内	
活動普及対象	組合員、地元住民、学校関係者	
アピールポイント	学校との連携により、児童生徒・先生はもとより、保護者や資源保全会など地域住民はじめ・マスコミ報道、ホームページにより活動内容を発信することができた。また、ゴミの投棄については、啓発看板の作成展示により、地域の方に訴えることができたと思う。	
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 16%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 18%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 19%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 19%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 18%/20% 	<p>組織の活性化 ・ 地域農業の振興 ・ 地域コミュニティへの貢献 ・ 地域資源の保全強化</p>
今後の課題	組合員や地域の方々にもっと理解していただけるような活動を展開する必要がある	

90%